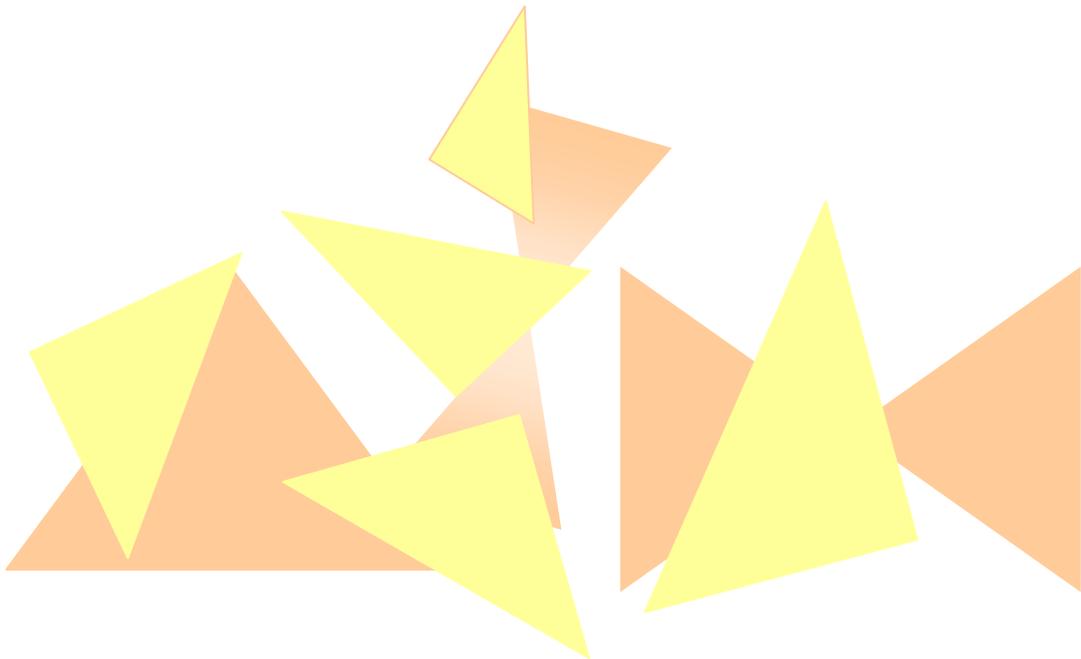


第1章

平成30年度の男女共同参画に関する主な動きと取組み

県では、平成13年3月に山形県男女共同参画計画を策定（計画期間：平成13～22年度）し、男女共同参画による豊かな地域社会を築くための取組みを進めて参りました。平成28年3月には、新たな山形県男女共同参画計画を策定し、さらなる推進に努めております。

第1章では、やまがたウーマノミクス加速化プロジェクトチームの設立や「やまがたウーマノミクス・ネットワークフォーラム」の実施などの女性の活躍促進、「山形いきいき子育て応援企業」や「やまがた企業イクボス同盟」などのワーク・ライフ・バランスの実践拡大に向けた取組み、また山形県男女共同参画センターの取組みやDV未然防止に向けた意識啓発の強化についてなど、平成30年度の男女共同参画に関する主な動きと取組みを御紹介します。



1. 女性の活躍促進

(1) やまがたウーマノミクス加速化プロジェクトチームの立ち上げ

平成30年6月、女性の活躍推進や女性も男性も共に働き共に育む社会を実現するため、各部局等で取り組んでいる事業の情報共有及び効果的な情報発信を図り、女性が能力を發揮し活躍できる環境の整備に向けて、全庁が一体となった戦略的かつ効果的な事業展開に資することを目的として、やまがたウーマノミクス加速化プロジェクトチームを設置しました。



〔プロジェクトチーム会議の様子〕

【日時・場所】

第1回 平成30年6月15日（金）10:30～12:00・県庁

第2回 平成30年8月20日（月）14:00～15:30・県庁

第3回 平成31年3月15日（金）13:30～15:30・県庁

【構成員】

子育て推進部女性活躍推進監、同 子育て支援課長、同 子ども家庭課長、同 若者活躍・男女共同参画課長、健康福祉部地域福祉推進課長、同 地域医療対策課長、同 長寿社会政策課長、商工労働部産業政策課長、同 中小企業振興課長、同 雇用対策課長、観光文化スポーツ部観光立県推進課長、農林水産部農政企画課長、同 農業技術環境課長、同 6次産業推進課長、同 林業振興課長、県土整備部建設企画課長、教育庁総務課長

(2) マザーズジョブサポート山形・庄内の取組み

就職を希望している子育て中の女性を支援するため開設した仕事と家庭のワンストップ支援窓口、マザーズジョブサポート山形及び庄内では、離職してからのブランクに対する不安や、お子さんの預け先に悩みを抱えていらっしゃる方などの相談に対応する窓口として、マザーズ・コンシェルジュによる総合相談を実施しております。

併せて、保育ルームを設置し、相談中や就職面接時等における託児サービスの提供を行っています。

また、様々な業種に関心を持つきっかけとし、就業に関する女性の選択肢を広げることを目的として、「ママたちの職場見学会」や「職業理解セミナー」※を開催しました。その他、県内6ヶ所のハローワーク等にマザーズ・コンシェルジュが出張しセミナーや個別相談を行う「マザーズおしごと相談会」や就職面接用のスーツ・靴・バッグの貸出等を行っています。

※当年度より、マザーズジョブサポート山形でのみ開催



〔職業理解セミナーの様子〕

【利用実績（H31.1月末現在）】

	県窓口利用者数 (延べ人数)	就職者数 (延べ人数)	保育ルーム利用者数 (児童数・延べ人数)
マザーズジョブサポート山形	1,182人	156人	340人
マザーズジョブサポート庄内	543人	92人	164人

【マザーズおしごと相談会 開催会場】

地 域	会 場	実施回数	受講人数（延べ）※
村山地域	ハローワーク村山	6回	32名
	ハローワーク寒河江	6回	39名
最上地域	ハローワーク新庄	8回	48名
置賜地域	ハローワーク米沢	15回	94名
	ハローワーク長井	10回	59名
庄内地域	ハローワーク鶴岡	15回	139名

※ ～平成31年1月末時点

（3）やまがたウーマノミクス・ネットワークフォーラムの実施

女性の活躍推進により社会や経済の活性化につなげることを目的に、県内で働く女性を対象に異業種間の交流や意見交換、ロールモデルによる事例発表等を行う「やまがたウーマノミクス・ネットワークフォーラム」を開催しました。



〔フォーラムの様子〕

【日時】平成30年11月12日（月）13:30～16:30

【会場】山形国際ホテル（山形市）

【内容】第1部 オープニングスピーチ

テーマ「言葉との出会い、素敵な人との縁が人生を輝かせる」

講 師 株式会社Bマインド 代表取締役 関根 近子 氏

第2部 ロールモデルによる事例発表、意見交換

・株式会社フロッツ セールスプロモーション課マネージャー 南出 摩里 氏

・東ソー・クォーツ株式会社 生産・技術本部 素材部 部材加工課課長 安孫子 律子 氏

第3部 やまがた秋のスイーツ交流会

（4）女性管理職養成プログラムの実施

働く女性が自らのキャリアプランを考え、管理職として必要なビジネスセンスや実践力を身に付けるとともに、異業種や他の企業で働く女性と情報交換等を行うことにより、次代を担う女性管理職を養成することを目的に、「女性管理職養成プログラム」を実施しました。



〔女性管理職養成プログラムの様子〕

【日時】第1回 平成30年8月22日（水）

第2回 平成30年9月26日（水）

第3回 平成30年10月22日（月）

各回 9:30～17:30

【会場】食糧会館（山形市）

【参加者】県内企業等で働く女性中堅社員

【内容】〈第1回〉

テーマ：「なりたい自分のイメージがこれからを作る～会社からの期待をチャンスに変えるビジネスセンスや実践力を身につけるには～」

講 師：(株)日本マンパワー研究開発専門課長 小出 真由美 氏

〈第2回〉

テーマ：「管理職になりたい？なりたくない？～新しい時代のリーダーシップと私の未来の可能性～」

講師：株式会社働きかた研究所代表取締役 平田 未緒 氏

〈第3回〉

テーマ：「仕事もプライベートも輝いて生きるための視点と思考～思考と言葉が人生を変える～」

講師：株式会社Bマインド代表取締役 関根 近子 氏

（5）女性管理職養成プログラムフォローアップ調査の実施

女性管理職養成プログラムの効果検証を行うため、平成27年度～29年度までの3年間の修了生と送り出し企業を対象としたフォローアップ調査を実施しました。

【対象者と回収率】

修了生 83名うち回答者数 64名（77.1%）

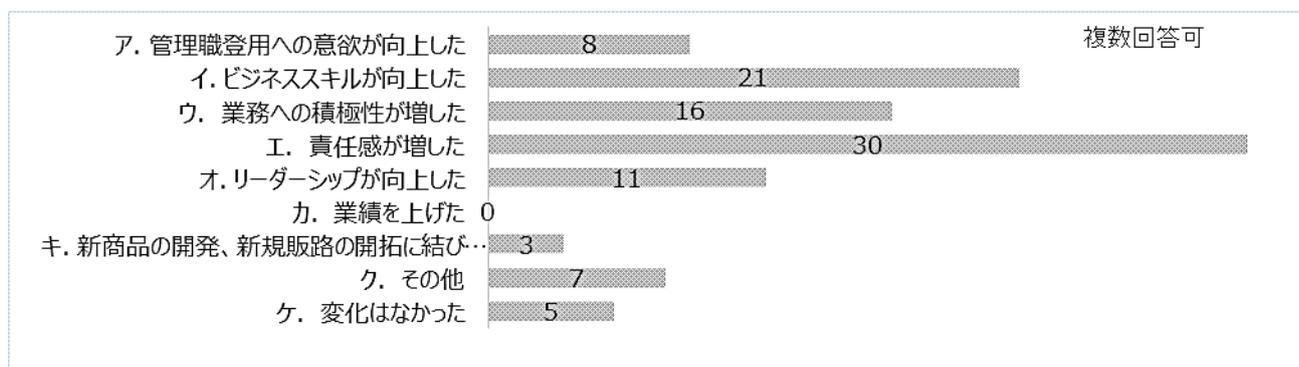
送り出し企業 63社うち回答社数 36社（57.1%）

【調査結果（抜粋）】

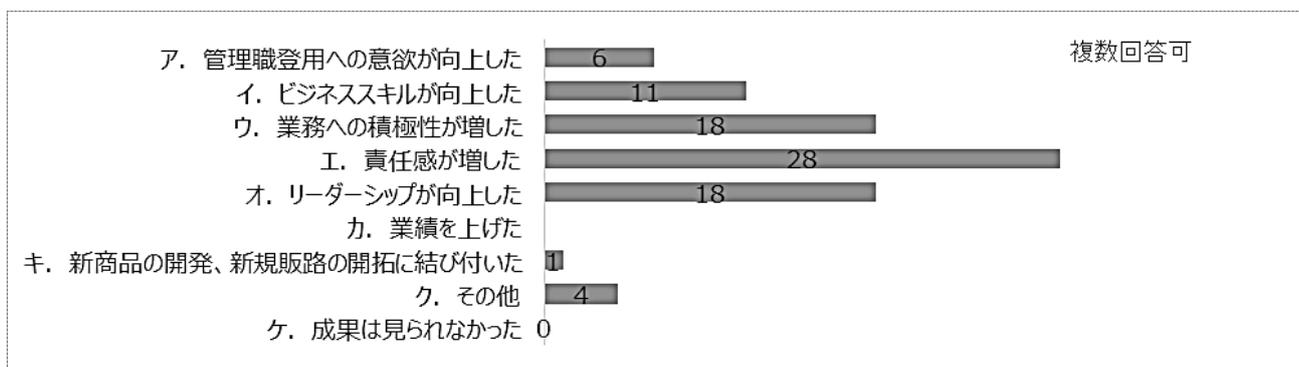
（1）プログラム終了後、昇進又はキャリアアップへ向けた配置替えがあったなど、人事上や業務上における変化があったと回答した修了生の割合 38%（24名）

（24名のうち、昇進 16名 ほか新店舗の立ち上げ、担当管理部門が増えたなど 8名）

（2）プログラム終了後、働き方や資質面での変化があったと回答した修了生の割合 92%



（3）プログラム終了後、働き方や資質面での変化があったと回答した送り出し企業の割合 100%



(6) やまがた女性活躍応援連携協議会

平成 28 年 6 月、少子高齢化社会の進展に伴い、労働力人口が減少する中、女性の力が最大限発揮される社会づくりを推進するため、県内の各界・各分野を代表する機関・団体が参集し、本県における女性の職業生活における活躍の推進に関する取組みの効果的かつ円滑な実施とワーク・ライフ・バランスの実現に向けた職場環境の整備を目的に協力・連携する場として、「やまがた女性活躍応援連携協議会」を設置し、今年度は以下のとおり、協議会を開催しました。



〔協議会の様子〕

【日時・場所】

第 1 回 平成 30 年 7 月 10 日 (火) 10:00~11:30・県庁

第 2 回 平成 31 年 3 月 15 日 (金) 13:30~15:30・県庁

【協議会メンバー】

○団体

一般社団法人山形県経営者協会・山形県中小企業団体中央会・山形県商工会連合会・
山形県商工会議所連合会・山形県農業協同組合中央会・日本労働組合総連合会山形県連合会・
社会福祉法人山形県社会福祉協議会・一般社団法人山形県銀行協会・株式会社山形新聞社・
国立大学法人山形大学・特定非営利活動法人やまがた育児サークルランド・山形県市長会
山形県町村会・山形県男女共同参画センター・山形労働局・山形県

○学識経験者

山形大学名誉教授・関東学園大学教授 國方 敬司 氏

2. ワーク・ライフ・バランスの実践拡大に向けた取組み

(1) 山形いきいき子育て応援企業登録・認定制度

山形いきいき子育て応援企業登録・認定制度は、「女性の活躍推進」や「仕事と家庭の両立支援」に取り組む企業を、県が登録・認定し、サポートする取組みです。平成 31 年 1 月末現在の登録・認定企業数は、802 社となっています。

◇登録・認定要件◇

(1) ~ (3) の要件を全て満たす企業等を「山形いきいき子育て応援企業」として登録・認定する。

(1) 以下のいずれかに該当すること

【宣言企業】

認定基準のうち、2つ以上に取り組む計画がある企業

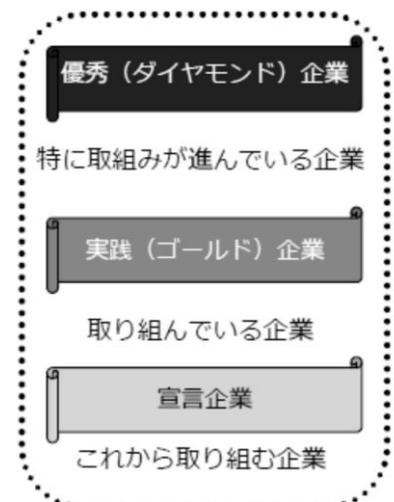
【実践（ゴールド）企業】

認定基準のうち、2つ以上に取り組んでいる企業

【優秀（ダイヤモンド）企業】

認定基準のうち、4つ以上に取り組んでいる企業

※ 優秀（ダイヤモンド）企業は認定基準 I・II 必須



<認定基準>

- I 女性の活躍推進
 - II 仕事と家庭の両立支援
 - III 出産・育児・介護等により退職した女性の再雇用等
 - IV 男女がともに働きやすい職場づくり
 - V 県民の結婚支援・子育て支援・若者応援・地域貢献
- (2) ワーク・ライフ・バランス推進員を設置すること
- (3) 事業主又は役員が暴力団員でないこと、もしくは暴力団又は暴力団員と密接な関係を有しないこと

◇登録・認定企業へのサポート◇

① 登録・認定マークの配付【新規】	宣言企業	実践 (ゴールド)企業	優秀 (ダイヤモンド)企業
② 奨励金の交付(1回のみ)			
③ 県産業活性化資金優遇金利(女性活躍推進関連)適用			
④ 女性管理職育成のための研修派遣支援金の交付			
⑤ 女性役員登用支援金の交付			
⑥ 働き方改革推進支援資金特別利率適用【日本政策金融公庫】			
⑦ 市町村からの支援措置(上山市・新庄市・鶴岡市・酒田市)			
⑧ ワーク・ライフ・バランス実践マニュアル等の配付			
⑨ ワーク・ライフ・バランスミニのぼり旗の配付			
⑩ 奨励金の交付(2回目以降)			
⑪ 県産業活性化支援資金優遇金利適用			
⑫ 県競争入札参加資格者名簿(建設工事)発注者別評価点を5点加算			
⑬ 市町村からの支援措置適用(山形市・山辺町・新庄市・真室川町・鶴岡市・酒田市)			
⑭ 荘内銀行・日本政策金融公庫協調融資における特別利率の適用			
⑮ 優秀(ダイヤモンド)企業盾の交付	実践 (ゴールド)企業	優秀 (ダイヤモンド)企業	
⑯ 知事との新聞紙面対談(3社/年)			

※ 奨励金のメニュー

- (1) 女性を管理職に登用した場合
- (2) 女性を役職に登用した場合
- (3) 男性の育児休業取得者が出た場合
- (4) 介護休業取得者が出た場合
- (5) 小学校就学前の子を養育する女性を正社員として雇用した場合

※ 支援金のメニュー

- (1) 女性管理職育成のための研修派遣支援金

企業における女性管理職の育成を支援するため、外部研修に女性職員を派遣し、その受講料を全額事業主が負担している場合

(2) 女性役員登用支援金

女性役員を初めて登用し、その女性役員の活躍の状況・実績を活かして、女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスの普及に向けた取組みを行っている場合

◇優秀（ダイヤモンド）企業一覧（平成31年1月末現在115社）※敬称略◇

No.	企業等名称	市町村	No.	企業等名称	市町村
1	A I S O H O企業組合	山形市	43	株式会社萬屋薬局	山形市
2	株式会社E旅	山形市	44	リコージャパン株式会社山形支社	山形市
3	株式会社伊藤熱処理	山形市	45	株式会社レオパレス21	山形市
4	学校法人羽陽学園	山形市	46	株式会社寒河江測量設計事務所	寒河江市
5	株式会社N T T 東日本ー東北山形支店	山形市	47	株式会社多田	寒河江市
6	株式会社エフエム山形	山形市	48	角田商事株式会社	寒河江市
7	株式会社大風印刷	山形市	49	日東ベスト株式会社	寒河江市
8	株式会社大沼	山形市	50	社会福祉法人偕寿会	上山市
9	社会福祉法人恩賜財団済生会山形済生病院	山形市	51	社会福祉法人みゆき福祉会	上山市
10	株式会社きらやか銀行	山形市	52	株式会社コヤマ	村山市
11	株式会社工藤測量設計	山形市	53	株式会社志乃屋	天童市
12	株式会社クリーンシステム	山形市	54	株式会社つるかめ	天童市
13	黒澤建設工業株式会社	山形市	55	日新製菓株式会社	天童市
14	社会福祉法人敬寿会	山形市	56	丸七建設株式会社	天童市
15	株式会社KDDIエボルバ山形センター	山形市	57	神町電子株式会社	東根市
16	弘栄設備工業株式会社	山形市	58	社会福祉法人東根福祉会	東根市
17	株式会社シベール	山形市	59	山形サンケン株式会社	東根市
18	株式会社ジェイ・サポート	山形市	60	山形中央観光株式会社	東根市
19	医療法人社団松柏会	山形市	61	特定医療法人敬愛会尾花沢病院	尾花沢市
20	積水ハウス山形支店	山形市	62	株式会社黒田組	河北町
21	株式会社セラフィム	山形市	63	モガミフーズ株式会社	河北町
22	第一生命保険株式会社山形支社	山形市	64	アイル・クリエイト株式会社	新庄市
23	大和証券株式会社山形支店	山形市	65	社会福祉法人新庄市社会福祉協議会	新庄市
24	大和リース株式会社山形営業所	山形市	66	東舗工業株式会社	新庄市
25	株式会社東北消防設備	山形市	67	沼田建設株式会社	新庄市
26	東北電化工業株式会社	山形市	68	特定非営利活動法人はぐくみ保育園	新庄市
27	株式会社東北福祉サービス	山形市	69	特定非営利活動法人福祉サポートセンター山形	新庄市
28	株式会社日本政策金融公庫山形支店	山形市	70	山形航空電子株式会社	新庄市
29	ハンズバリュー株式会社	山形市	71	株式会社三和食品	最上町
30	株式会社フロット	山形市	72	AGCディスプレイグラス米沢株式会社	米沢市
31	北洋加工株式会社	山形市	73	一般財団法人三友堂病院	米沢市
32	株式会社マルハン	山形市	74	新和設計株式会社	米沢市
33	ミクロン精密株式会社	山形市	75	世紀株式会社	米沢市
34	ミドリオートレザー株式会社	山形市	76	朝日金属工業株式会社	長井市
35	社会福祉法人妙光福祉会	山形市	77	山形中央信用組合	長井市
36	株式会社Moment	山形市	78	エヌ・デーソフトウェア株式会社	南陽市
37	株式会社山形銀行	山形市	79	阿部コンクリート株式会社	鶴岡市
38	山形市農業協同組合	山形市	80	社会福祉法人一幸会	鶴岡市
39	山形信用金庫	山形市	81	株式会社feふぁーむ	鶴岡市
40	社会福祉法人友愛会	山形市	82	有限会社菅原運送	鶴岡市
41	社会福祉法人ユトリア会	山形市	83	キャド・キャム株式会社	鶴岡市
42	株式会社ユニバーサル山形	山形市	84	株式会社荘内銀行	鶴岡市

No.	企業等名称	市町村
85	鶴岡市農業協同組合	鶴岡市
86	鶴岡信用金庫	鶴岡市
87	ティービーアール株式会社	鶴岡市
88	株式会社山口工務店	鶴岡市
89	社会福祉法人恵泉会	鶴岡市
90	阿部エンジニアリング株式会社	酒田市
91	株式会社飯塚製作所	酒田市
92	五十嵐工業株式会社	酒田市
93	羽前建設株式会社	酒田市
94	株式会社エルデック	酒田市
95	おがた法律事務所	酒田市
96	花王株式会社酒田工場	酒田市
97	有限会社菊池電気	酒田市
98	キューブワン情報株式会社	酒田市
99	株式会社小松写真印刷	酒田市
100	多機能福祉施設こもれび	酒田市

No.	企業等名称	市町村
101	株式会社三栄電機工業	酒田市
102	株式会社 J I n s t i t u t e	酒田市
103	株式会社庄内給食センター	酒田市
104	東北東ソー化学株式会社	酒田市
105	株式会社東洋開発	酒田市
106	林建設工業株式会社	酒田市
107	株式会社ブランチ	酒田市
108	株式会社プレステージ・インターナショナル山形BPOガーデン	酒田市
109	松岡株式会社	酒田市
110	株式会社丸高	酒田市
111	有限会社山形電設	酒田市
112	ロイヤルネットワーク株式会社	酒田市
113	株式会社エフ・ワン	庄内町
114	学校法人杉の子学園	遊佐町
115	社会福祉法人遊佐厚生会	遊佐町

(2) 山形いきいき子育て応援企業「登録・認定マーク」の作成

登録・認定企業の取組みをPRし、企業のイメージアップにつなげるとともに、制度の更なる周知と県内企業等への取組み拡大を図るため、山形いきいき子育て応援企業に登録・認定されたことを示す『登録・認定マーク』を新たに作成しました。

【宣言企業】



【実践（ゴールド）企業】



【優秀（ダイヤモンド）企業】



※ 本県の特産品である「さくらんぼ」をモチーフとし、大小の2粒が寄り添うことで、親子に見立てたデザインとしています。

(3) 山形いきいき子育て応援企業「優秀（ダイヤモンド）企業」知事対談

「女性の活躍推進」や「仕事と家庭の両立支援」の取組みが特に進んでいる「優秀（ダイヤモンド）企業」3社と知事の対談が行われました。

はじめに、知事から女性の活躍推進やワーク・ライフ・バランスに関する県の施策について紹介し、その後、各企業の代表からは社員を大切にする想いや、男性も女性も働きやすい職場づくりに取り組むことの重要性などが話されました。



【対談の様子】

【日時・場所】

平成 31 年 2 月 13 日（水）・知事室

【参加企業】

医療法人敬愛会 法人本部長 渋谷 久美子 氏

社会福祉法人偕寿会 理事長 島崎 みつ子 氏

株式会社大風印刷 取締役 奥山 朋子 氏

【コーディネーター】 山形大学 名誉教授

関東学園大学 教授 國方 敬司 氏

(4) 山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰

仕事と生活の調和がとれた社会の実現に向けて積極的に取り組み、成果が認められる企業を表彰することにより、県内企業の自主的な取組みをより一層促進し、県民の意識啓発を推進するため、「山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰」を実施しました。

平成30年度は1社が受賞され、平成30年11月28日(水)にホテルメトロポリタン山形において表彰式が執り行われました。



〔吉村知事と受賞者〕

受賞企業概要（記載内容は受賞時点）

株式会社ジェイ・サポート

【所在地：山形市立谷川 業種：製造加工業 従業員：27名（男性19名、女性8名）】

【主な取組み内容】

◆女性の活躍推進

- 役員・管理職3名のうち、女性が1名となっている。
- 女性社員のスキル向上等のため、リーダーシップに係るセミナーや通信教育の受講を積極的に推奨している。

◆仕事と家庭の両立支援、働きやすい職場づくり

- 時間外勤務の縮減に努めるため、社員一人ひとりのスキルアップを行い、繁忙期においても他部署からの人員支援を可能とする独自の「複業制度」を導入している。
- 育児短時間勤務制度の対象を小学校就学始期までとしているほか、子の看護休暇や介護休暇が時間単位で取得可能となっており、法定以上の取組みを行っている。
- 男性の育児休業の取得実績がある。（実績2名。約2週間。）
- 年次有給休暇やリフレッシュ休暇の取得を促進するため、社内へのポスター掲示や社員一人ひとりに声掛けするなどしている。
- 男女問わず、子どものいる社員に対しては、優先的に夏休みや冬休みに合わせた長期休暇が取得できるように配慮している。
- ワーク・ライフ・バランス推進員を2名配置し、ノー残業デーの取組みや社員アンケートを実施するなど、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。（取組み例：山形いきいき子育て応援企業ダイヤモンド企業の認定、健康経営優良法人認定等）

(5) やまがた企業イクボス同盟の普及・拡大

女性の活躍や男性の家事・育児への参画促進など、男女が共に仕事と家庭生活を両立できる社会の実現を目指し、山形県知事や経済団体などのトップが発起人となり平成 27 年度に「やまがた企業イクボス同盟」を設立しました。平成 31 年 1 月末現在の加盟企業数は、330 社となっています。

また、「やまがた企業イクボス同盟」では、今年度以下のとおり取組みを行いました。

○ イクボス研修会～なぜ今、ワーク・ライフ・バランスが必要なのか～の開催

企業経営者等にワーク・ライフ・バランス推進の重要性を改めてお伝えすることを目的に「イクボス研修会」を開催しました。当日は、内閣府地域働き方改革支援チーム委員（兼務 株東レ経営研究所主任研究員）渥美 由喜 氏に御講演いただき、また、ワーク・ライフ・バランス推進等に積極的に取り組む県内外企業によるパネルディスカッションを実施しました。



〔イクボス研修会の様子〕

【日時】平成 30 年 11 月 28 日（水）13:30～15:45

【会場】ホテルメトロポリタン山形（山形市）

【対象】企業の経営者、管理職、人事労務担当者、
地方自治体の管理職 など

【内容】

[第 1 部]平成 30 年度山形県ワーク・ライフ・バランス優良企業知事表彰式

[第 2 部]基調講演

演題：「経営戦略としての働き方改革」

講師：渥美 由喜 氏

[第 3 部]パネルディスカッション

◇テーマ「働きやすい職場づくりに向けた取組みについて」

◇コーディネーター 渥美 由喜 氏

◇パネリスト（五十音順）

・株式会社ジェイ・サポート（山形市） 取締役副社長 鈴木 政紀 氏

・積水ハウス株式会社（大阪府大阪市） CSR 部長 小谷 美樹 氏

・リコージャパン株式会社山形支社（山形市） 支社長 土屋 賢吾 氏

○ 「やまがた企業イクボス同盟」情報交換会の開催

同盟企業間での悩みや課題の共有を目的としたグループディスカッション形式での情報交換会を開催いたしました。加盟企業から 21 社 27 名が参加し、各社で取り組んでいる取組み等について、非常に活発なディスカッションが行われました。



〔情報交換会の様子〕

【日時】平成 30 年 9 月 20 日（木）13:30～15:30

【会場】村山総合支庁（山形市）

【対象】人事労務担当者 など

【内容】

〔第1部〕講演

演題：「ワーク・ライフ・バランスの推進について～労働環境改善に係る国の施策と人材確保～」

講師：厚生労働省 新庄公共職業安定所 所長 小友 有子 氏

〔第2部〕事例紹介

発表者：ND ソフトウェア㈱ 人材開発部 課長代理 濱田 真美加 氏

〔第3部〕グループディスカッション

- ・ディスカッション1 自社の取り組み紹介
- ・ディスカッション2 「ワーク・ライフ・バランスの推進について」

○ 「やまがた企業イクボス同盟」コンサルティング事業の実施

やまがた企業イクボス同盟加盟企業における具体的なワーク・ライフ・バランスの取組みの実践につなげることを目的として、専門家(社会保険労務士)を派遣するコンサルティング事業を実施しました。

【実施期間】平成30年11月～平成31年3月

【実施企業】県内企業・団体5社

○ 「やまがた企業イクボス同盟」統一行動の実施

加盟企業のうち趣旨に賛同する企業が、「イクボス同盟の更なる普及・拡大」及び「県内企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進」を目的に、統一的な行動として『一斉退社』を実施しました。(退社時間は各企業の定時)

【実施日】平成30年12月21日(金)(クリスマスイブ連休前の金曜日)

【参加企業数】49社(山形県庁含む)



3. 地域における男女共同参画の推進

(1) 山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰

男女共同参画社会づくりに特に顕著な功績のあった個人若しくは団体又は仕事や地域活動等様々な分野でチャレンジし活躍している個人若しくは団体を顕彰し、その功績を称え、男女共同参画社会づくりに対する県民の一層の関心を高め、男女共同参画社会の形成の促進を図るため、「山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰」を実施しました。平成30年度は、功労者表彰1名・1団体、チャレンジ賞1名・1団体が受賞され、平成30年10月8日(月)に開催された「チェリア・フェスティバル山形 2018」において表彰式が執り行われました。



〔吉村知事及び子育て推進部長と受賞者〕

受賞者概要（功労者表彰）

功労者表彰は、男女共同参画社会づくりに積極的に取り組み、その功績が特に顕著であると認められる個人・団体を表彰するものです。

阿部 典子 氏（山形市）

山形市議会議員在職中は、「男女共同参画は教育現場から始まる」という信念の下、市内小中学校の児童・生徒の男女混合名簿の普及に尽力したほか、男性の育児参画の必要性、女性の政治参画の必要性など数多くの提言を行い、男女共同参画社会づくりに尽力した。

そのほか、講師として、女性団体が主催する数多くの講演会で男性の育児参画の必要性や女性の政治参画の必要性を講演し、男女共同参画社会づくりに向けた機運の醸成に大きく貢献した。

また平成 19 年からは、特定非営利活動法人日本 B P W 連合会山形クラブ副会長として、「イコール・ペイ・デイ」に合わせ、県内の経済団体や行政機関を訪問し現状を訴えるなど、働く女性の社会的地位の向上に尽力した。

天童市男女共同参画社会推進委員会（天童市）

平成 13 年の設立以降、年 2 回のタウンミーティングや市民向けの講演会、地元高校生による演劇活動など、毎年、市民参加型の活動を実施し、男女共同参画社会づくりの機運の醸成に大きく貢献してきた。

標語の募集では、市内の中学校や高等学校を巡回して参加を呼び掛けるなど、地域に根差した地道な取組みを積み重ね実施しており、男女共同参画について考え、理解を深めるきっかけとなった。

受賞者概要（チャレンジ賞）

チャレンジ賞は、仕事や地域活動等、様々な分野でチャレンジし活躍している個人・団体を表彰するものです。

菅野 美奈子 氏（山形市）

民間企業でシステム開発に携わっていたが出産を機に退職し、その後、10 年間は子育てに専念。平成 13 年度山形県地域緊急雇用対策 SOHO 推進事業がきっかけで、子育てや介護などとの両立が難しい環境の中でも自分らしいワークスタイルを求める女性の集団「キャリ・マミーズ」を始動。平成 16 年には、より高度で多種多様なニーズに応えるため法人化し、山形県知事認可法人「AISOHO 企業組合」を設立した。

在宅ワーカーの登録組織を立ち上げ、子育てや介護など制約がありながらも働く意欲のある県内の女性達に対して、社会参画・自己実現の場を提供し、県内企業の中でも先駆的な事例となる、在宅ワークと短時間勤務を合わせた労働環境の確立に貢献した。

また、県男女共同参画センターの活動に主導的に関わるとともに、男女共同参画推進を目指す仲間のネットワーク形成に注力するなど、意欲的かつ継続的に地域における男女共同参画推進活動に貢献している。

戸沢村女性消防隊（戸沢村）

平成 27 年に女性消防隊を結成以来、訓練を重ね、平成 29 年の全国女性消防操法大会では準優勝を収めた。

準優勝という成績はもとより、結成以来、訓練、研修、全国大会への出場を通して、地域の防災を担う大切な一組織へと成長するとともに、家族、消防団をはじめ、広く住民の間で、男性の家事参画や応援の輪が広がり、地域における男女共同参画に向けた意識改革に貢献した。

また、女性消防隊自身が防災だけではなく、地域づくりへの参画にも意欲をみせるなど、地域の女性達の意識向上にも貢献した。

(2) 男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰

内閣府で実施している「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を高島電機株式会社 代表取締役会長でみやぎ・やまがた女性交流機構の会長を務めている 井上 弓子 氏が受賞しました。

当表彰は、長年にわたり男女共同参画社会に向けた気運の醸成等に功績のあった方や、各分野において実践的な活動を積み重ね、男女共同参画の推進に貢献されてきた方を顕彰するもので、本県からの受賞者は6人目となります。



〔安倍内閣総理大臣及び野田内閣府特命担当大臣（男女共同参画）と受賞者〕

井上 弓子 氏（山形市）

専業主婦として横浜で長年過ごしたあと山形に戻り、母から事業を継承。会社経営に携わり、平成24年には山形商工会議所初の女性副会頭に就任。

また、宮城、山形、福島の女性の交流会を実施するなど自ら女性活躍のロールモデルとして山形県の商工業分野における女性の活躍に多大な影響を与えている。

(3) 山形県男女共同参画推進員の取組み

県では、平成28年度より県内の各地域において男女共同参画社会の形成に関する理解の浸透を図るために、各地域の実情や特性を踏まえて地域の中で男女共同参画を推進する山形県男女共同参画推進員を設置し、推進員による出前講座などを実施しています。

【推進員の設置状況】

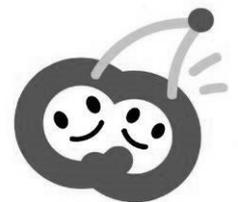
村山地域	置賜地域	最上地域	庄内地域
11名	5名	6名	6名

4. 山形県男女共同参画センター・チェリアの取組み

(1) 山形県男女共同参画センター・チェリアの概要

山形県男女共同参画センターは、男女が社会の対等な構成員として、社会のあらゆる分野に共同参画する豊かな社会「男女共同参画社会」の実現をめざす活動交流拠点として、平成13年4月1日より遊学館（山形市）内に開設しました。

愛称である「チェリア」は、チェリー（さくらんぼ）とエリア（場所）の組合せによる造語です。さくらんぼは山形県の名産であり、また二つの実が一緒になっている形が男女仲良く並んで男女共同参画を表現しているように見えることからセンターのシンボルマークにもなっております。



〔チェリアシンボルマーク〕

<チェリアの主な取組み>

① 県民の男女共同参画に関する意識改革

民間団体・グループが実施する男女共同参画に関する講座等の開催経費に助成金を交付する県民企画事業や、広報誌「チェリア」の発行やホームページによる情報提供を行っています。

② 地域における身近な男女共同参画の推進

登録団体・グループの発表など県民の参加と交流を目的としたチェリアフェスティバルや県内4ブロックにおいて各地域が主体となって企画、実施する地域講座等を実施しています。

③ ワークライフバランス及び女性の活躍推進

企業や地域において男女共同参画を推進するキーパーソンや女性リーダーを育成する「チェリア塾」の開催や、男性の意識啓発促進のための男性セミナーの開催等を実施しています。

④ 男女共同参画に関する相談・支援

一般相談、男性相談、専門相談（弁護士による法律相談、臨床心理士によるこころの相談）を実施するとともに、相談機関の実務者研修会や相談業務から見えてくる悩みをテーマとした講座を開催しています

⑤ その他男女共同参画に関する業務

各種調査、団体への指導及び各種研究を行っています。

(2) 平成30年度の主な実施事業

○ チェリア恒例の祭典「チェリアフェスティバル山形2018」を開催！

チェリアフェスティバルは、男女共同参画社会づくりを目指して活躍している団体・グループの活動発表や県民の皆様との交流を目的に、「あなたと私 違いを力に変えていく」をテーマとして10月8日（月）に文翔館で開催しました。

チェリア登録団体から選ばれた実行委員の企画により、講演会や団体・グループによるワークショップ、活動発表、男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰など今年も盛りだくさんの内容で、当日は、延べ3,501人のご来場をいただきました。



〔講演する水無田気流氏〕

【水無田気流氏による講演会】

「「居場所」のない男、「時間」がない女～共に幸せになるために～」と題した水無田さんのお話は、超満員の会場の中、現代社会の抱える課題やその解決策を、データ分析を通して、社会学者としての視点から講演していただきました。日本人男性の「関係貧困」日本人女性の「時間貧困」が生きづらい社会を醸し出しており、これを打破するには全方位的な雇用環境の改善が重要と強調されました。

【団体・グループの活動発表】

ワークショップ11企画、展示発表11団体、県民交流4団体と多くの団体が日頃の活動の成果を発表しました。

【アトラクション・にぎわいコーナー】

文翔館前庭に設置したにぎわいコーナーでは、だやしや楽校、バルーンアートの実演などで賑わいました。また、高校生には20名のボランティアのほか、書道パフォーマンス（山形西高）や徳内ばやし（村山産業高）などでも参加していただきました。

〔アトラクション・にぎわいコーナーの様子〕



○ 「チェリア塾基本コース」を庄内地域で開講

企業や地域において、男女共同参画を推進するキーパーソンや女性リーダーを育成するとともにそのネットワーク化を目的に、「チェリア塾・基本コース」を庄内地域で開講しました。修了者数は19名でしたが、修了後も自主的に交流を続け、次年度の実践コースに進む準備を行っています。

【講師】

伊藤眞知子氏（東北公益文科大学教授・大学院公益学研究科長）・尾形恵子氏（㈱ティップス取締役社長）・青木孝弘氏（会津大学短期大学部産業情報学科准教授）・中野満知子氏（オフィス「想」ネットワーク代表）・廣瀬隆人氏（一般社団法人とちぎ市民協働研究会代表理事）

【内容】

- ・わたしたちは今どこにいるの？～女性活躍の風を受けて～
- ・キャリアデザイン～自分にできること・したいこと・やらなければならないこと～
- ・ロジカルシンキング～課題の考え方、取り組み方を身につけよう～
- ・対等な人間関係を育もう～心通うコミュニケーションで変わる関係～
- ・ふりかえりと次のステップへの踏み出し～そして私はどうなるのか～ など



○ 「チェリア塾実践コース」を村山地域で開講

「チェリア塾・実践コース」は、基本コース修了生を対象に、受講者自らが自主企画講座を企画・運営し、実践力を身につけるとともに確固たるネットワークを築くための講座です。本年度は、村山地域での基本コース修了生のうち10名が参加し、2グループに分かれて自主企画講座を開催しました。受講生は役割を分担し、苦労しながらも協力し合って最後は成功裡にやり遂げました。

【自主企画講座】

男女共同参画社会を実現するためには何が足りないのか、そのために何をすればよいのかから検討に入り、1つのグループは思い込みや自分の力（魅力）に気づくワークを、もう1つのグループは働き方改革実行計画に焦点を絞った講座にしたいということで企画を進めました。



【「実践コース」で自主企画講座のテーマを話し合っている様子】

- ★ 「心がかようコミュニケーションで対等な人間関係を育もう～ハラスメントしない・させない・許さない～ #Me too 」

講師 中野満知子氏 (オフィス「想」ネットワーク代表)

- ★ パネルディスカッション「ワークライフバランスって何？」

コーディネーター チェリア塾 11 期生メンバー

パネラー 長岡和史氏 (フルお父さん代表)

佐藤千秋氏 (イグメン共和国)

菅野美奈子氏 (チェリア塾修了生)

○ 「チェリア塾専門コース」を開講

【ワークショップ技法の習得】

チェリア塾修了生や男女共同参画推進員を対象に、出前講座等の実践活用を念頭に、チェリア塾専門コースとして男女共同参画を分かりやすく伝えるための「男女共同参画ワークショップの技法の習得」講座を開催しました。

白百合女子大学准教授の川中信氏を講師に、全 3 回の講座でしたが、受講生はファシリテーターとしての役割とその重要性並びに難しさも併せて感じ取っていた様子でした。

この成果を、今後の実践に活かしていただくことを期待します。

【「やまがた緑塾」「ジェンダー白熱教室」(知識の習得)】

出前講座や男性セミナーなどの講師として活動するためには、それを分かりやすく伝える技法とともに、男女共同参画に関する理論についてもある程度正確に持ち合わせておくことが重要です。

このため、村山地域においては高木直氏 (山形県男女共同参画センター館長) を講師に、年間 10 回の「やまがた緑塾」を開講し、ジェンダーに関して体系的・理論的に学びました。

また、庄内地域においても伊藤眞知子氏 (東北公益文科大学教授) を講師に、やはり 10 回程度の「ジェンダー白熱教室」を計画し、本年度はその第 1 回を開講しました。

○ 男性セミナーの開催

男性セミナーは、シリーズ「男の土曜塾」として「ちがいがわかる男のコーヒー座談会 vol. 4」を、村山地域と庄内地域の 2 会場で開催しました。

村山地域は、11 月 17 日 (土) 天童市との共催で天童市立天童中部公民館で、庄内地域は、10 月 27 日 (土) 酒田市との共催で酒田市男女共同参画推進センター「ウィズ」で開催しました。講座は両会場とも、第一部がコーヒー講座、第二部が男女共同参画講座という 2 部構成で、美味しいコーヒーのいれ方を学ぶとともに、男性の立場から男女共同参画を考えるという内容でした。

講師は、第一部が赤塚宏之氏 (株東北万国社)、第二部がチェリア塾修了生 4 名の方にお願ひしました。チェリア塾修了生は、チェリア塾専門コースで学んだファシリテーション技法を發揮し、コーヒーを飲みながらのリラックスした雰囲気の中で講座が進み、最後は大いに盛り上がった話し合いとなり、参加者は何かしらの気づきがあった様子でした。



〔様々なコーヒーを飲み比べ、淹れ方や品種による味の違いを確認しています。〕



〔コーヒーを飲みながら、リラックスした雰囲気の中で話し合いが進みます。〕

○ 男性相談の実施

男性は、悩みごとがあっても誰にも話せず、一人で抱え込んで頑張り過ぎてしまう傾向があると言われる、深刻な事態に発展してしまう場合もあります。

このため、男性が相談しやすい環境整備を目的に、「やまがたいのちの電話」のご協力で男性相談員を配置し、「男性ほっとライン」として男性相談専用の電話相談窓口を設置しています。（毎月第1・第2・第3水曜日：19:00～21:00）

平成27年度からスタートし利用者は年々増加してきましたが、本年度に入って相談件数が少し落ちてきました。しかし、依然として悩みを持つ男性は多く、今後とも充実した相談体制の整備が望まれます。

○ 「悩みに寄り添う講座」の開催

「チェリア相談室」に寄せられる相談は多岐にわたっていますが、相談内容の根底に潜む一人ひとりが抱えている“生きづらさ”に焦点を当て、相談事業から見えてくる悩みに寄り添う講座を、山形市男女共同参画センター「ファーラ」と共催で開催しました。

第1回は11月16日（金）「離婚と調停～手続き・養育費・面会交流など～」を、榊原広城氏（家庭問題情報センター主任研究員）を講師に開催しました。離婚調停や養育費の算定、面会交流等について事例を交えながらの具体的な説明があり、特に面会交流については、未成年の子に対して人格形成や精神的発達の面から重要であることを学びました。

第2回は11月30日（金）「知ろう！防ごう！ハラスメント～パワハラ・モラハラ・セクハラなど～」を、山口紗世子氏（山口法律事務所弁護士）を講師に開催しました。ハラスメントの中でも、特にセクハラや職場でのいじめ・パワハラ・マタハラを取り上げ、具体的事例や裁判例からハラスメントとはどのようなものか理解を深めるとともに、その防止策を学びました。

5. DV未然防止に向けた意識啓発の強化

DV（ドメスティック・バイオレンス）とは、一般的には「配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった人から加えられる暴力」をいいます。

県では平成28年3月に新たな「山形県DV被害者支援基本計画」を策定し、男女が互いに人権を尊重し、暴力のない社会の実現に向け、取り組んでいます。県及び県男女共同参画センター・チェリアの平成30年度の主な取組みを紹介します。

(1) デートDV防止出前講座の実施

若年層におけるDV事案の未然防止、意識啓発のため、平成24年度から県内公立・私立高等学校、短期大学、大学等の生徒を対象に「デートDV防止出前講座」を実施しています。講師による講話のほか、DVDでの事例紹介、ロールプレイ等、高校生や大学生等への啓発を行いました。

【事業実施回数】

	高等学校	大学・短大	専門学校	計
平成24年度	5	3	—	8
平成25年度	8	1	—	9
平成26年度	7	3	2	12
平成27年度	13	3	2	18
平成28年度	13	3	2	18
平成29年度	14	3	2	19
平成30年度	12	1	2	15
延べ実施校数	72	17	10	99

(2) ～女性に対する暴力をなくす運動～パープル・リボンキャンペーン

パープルリボンキャンペーンとは、パープル（紫）色のリボンを身につけることで、「暴力のない世界にしたい」という想いや、被害者に対する理解・支援を行う運動です。今年も、県庁ロビー、遊学館、総合支庁、さらに県内各市町村で啓発ポスターの掲示やパープルリボンブローチの配布、パネル展示、市町村独自のライトアップキャンペーン、県内各地のご当地キャラクターのパープルリボンブローチ着用など女性に対する暴力をなくす運動の啓発に取り組みました。



旧米沢高等工業学校本館の
パープルライトアップ



ご当地キャラクターのパープルリボンブローチ着用の様子
(べにのすけ[河北町])

(3) デートDV予防セミナー

DVを生みださない社会にするため、また子ども達をDVの被害者にも加害者にもしない教育の充実のため、山形市内小・中学校PTAを対象に、デートDVに関する基礎知識及び若年層におけるデートDVの実態についてのセミナーを開催しました。

【日時】平成31年2月14日（木）

【会場】山形国際ホテル（山形市）

【講師】山形大学地域教育文化学部 講師 石垣 和恵 氏



【セミナーの様子】

6. 全国知事会提言

女性の活躍～ウーマノミクス～加速で地方創生・日本再生 ～男女の格差をなくし、仕事と家事・育児・介護を共に担う社会を～

(1) 取組みの背景

全国の知事が協力して、男女共同参画について総合的に調査・研究等を行い、適切な施策を強力に推進するため、全国知事会に男女共同参画プロジェクトチームが設置されています。

本県の吉村知事は、平成 24 年から当プロジェクトチームのリーダーに任命され、今年度も各都道府県知事と協力し提言書を取りまとめ、8月に内閣府、厚生労働省へ提言活動を行いました。

(2) 提言の内容

II 提言テーマ

女性の活躍～ウーマノミクス～加速で地方創生・日本再生
～男女の格差をなくし、仕事と家事・育児・介護を共に担う社会を～

《課題解決に向けた11の提言》

提言(1) ワーク・ライフ・バランスの推進と、従業員の健康づくりに戦略的に取り組む「健康経営」の促進 <一部新規>

提言(2) 妊娠・出産・子育てと仕事の両立のための制度の充実 <一部新規>

提言(3) 女性の非正規雇用労働者が多い！非正規雇用労働者の正社員化の促進、待遇の改善

提言(4) 女性も活躍できる職場環境の整備、起業の支援

提言(5) 「第2子の壁」突破のため、男性の家事・育児への参画を促進 <一部新規>

提言(6) 子育てしながら再就業を希望する女性が、就業できるまでのサポート制度の構築

提言(7) ストップ貧困！ひとり親世帯が安定的に就業し、経済的に自立できる支援を <新規>

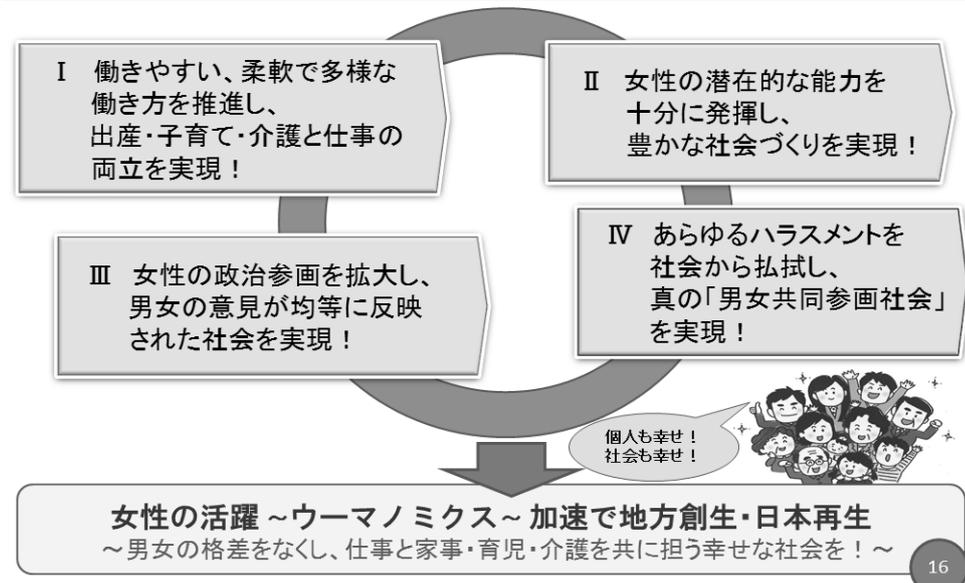
提言(8) 介護離職ゼロ！を目指した、介護と仕事の両立支援 <新規>

提言(9) 地域や政治分野における女性の活躍のためのポジティブアクションを展開し、男女の割合を均等に <新規>

提言(10) 女性と男性が、互いに人権を尊重する取組みの促進 <新規>

提言(11) 重くなる地方の負担！女性活躍の推進に、政府と地方が一体となって、本気で取り組むための十分な財源の確保を！

以上の提言により、叶える4つの実現！！



提言全文は、全国知事会ホームページをご覧ください。

男女共同参画プロジェクトチーム 検索